



あすかロータリークラブ

Asuka Rotary Club Weekly Bulletin

RI 会長：K. R. "Ravi" Ravindran

地区ガバナー：中澤 忠嗣

会長：澤 光彦 エレクト：吉川 隆博

副会長：松中 久 幹事：森下 秀城

クラブ会報委員長：富士川拓也

Vol. 25 No. 22 (No. 1169) 2015 年 12 月 3 日発行

前回のニコニコ ¥20,000 / 前期会費預かり分 ¥855,000 / 今年度累計 ¥1,491,500



古刹燃ゆる秋

於:京都市永観堂

撮影者:井上重行

第 1169 回 2015 年 12 月 3 日 (木)

- 1 開会点鐘
- 2 ソング「君が代」「奉仕の理想」
- 3 お客様紹介
- 4 会食
- 5 会長報告
- 6 幹事報告
- 7 出席報告
- 8 ニコニコ報告
- 9 委員会報告
- 10 本日の卓話
「未来予測 野々垣 博紀会員」
- 11 閉会点鐘

1168 回報告 2015 年 11 月 26 日 (木)

於：榎原ロイヤルホテル

ビジター

岸本 吉左衛門君 (大阪ナニワ RC)

出席報告

	全会員	免除者	出席者	MU	出席率%
第 1168 回	56	24	33 (13)	3	80.00
第 1166 回	56	24	41 (18)	8	98.00

ニコニコ

- 米田 昌弘君 先週のワイン例会、多数の出席ありがとうございました。また、松山総支配人はじめロイヤルホテルのスタッフの皆様、お世話様でした。ありがとうございます。
- 富士川拓也君 結婚祝いの花束、ありがとうございました。
- 武井 仁思君 結婚記念日の花束ありがとうございました。嫁も大変喜んでいました。

会長挨拶

○今日は映画の話をしたと思います。小さいころから映画好きで、高校時代に入ってから洋画も観るようになりました。中でも「風と共に去りぬ」や「カサブランカ」等は何度も観なおしてました。特に、ビビアン・リーやイングリッド・バーグマンの美しさにとても憧れていました。先週のワイン例会で、柳田会員もバーグマンが好きだということで、2人で盛り上がっていました。また日本映画では「わが青春に悔いなし」「青い山脈」「東京物語」に出演した原節子の日本人離れした大きな瞳にとても憧れていました。小津安二郎監督の映画によく出演され、小津監督のお通夜に参列して以来、世間に姿を見せなくなりました。そのため、「永遠の処女」「伝説の大女優」と言われ、憧れの的でした。その原節子が、去る 9 月 5 日に 95 歳で亡くなられ、非常に残念です。お悔やみ申し上げます。合唱。

幹事報告

○12 月理事会の案内

委員会報告

- 親睦・R 家族委員会 米田委員長
忘年例会の件
- クラブ会報委員会 富士川委員長
週報の訂正について
・ 1 ページ目
出席報告 第 1165 回分
全会員 誤) 56 名 → 正) 57 名
出席率 誤) 100% → 正) 98.18
選考委員 誤) 中西会員 → 正) 杉本会員
・ 最終ページ
致死量 誤) 越える → 正) 超える

次回の例会

「RLI について」

RLI 委員会 ディスカッションリーダー

大和郡山 RC 北谷泰彦様

4 つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

●例会日
毎週木曜日 12 : 30 ~

●例会場
榎原ロイヤルホテル

●事務局 〒634-0063
榎原市久米町 652 番地の 2

●0744-28-1698
●FAX 0744-28-2885

●URL: <http://asuka-rc.jp/>
●e-mail: info@asuka-rc.jp

「ラグビーをもっと楽しむために」



武井仁思会員

本日は、日本代表（ジャパン）が、先のラグビーワールドカップで決勝トーナメントには進めなかったまでも3勝し、世界3位の南アフリカに勝利し盛り上がっている、ラグビーを皆さんに楽しんでいただくためにお話をできればと思います。

これから、国内では大学ラグビー、高校ラグビー、トップリーグと佳境に入ってきます。TVでの放送も増えるのではないかと思いますので、少しでも楽しんでいただければと思います。

それでは、ラグビーの基本概念は“陣取りゲーム”であり、「トライ」をとるために体をぶつけ合い、ボールを奪い合って攻防を繰り返します。

次に、ボールの扱い方です。ボールは「持って走る」「手で放ること」「足で蹴ること」が認められています。ただ、ボールの放り方には特徴があり、ボールを前に放ってはいけないと言うことです。ボールを放る場合は、自分の真横より後ろにいるプレーヤーにしか放れないと言うことです。また、得点には、トライ以外にもキックで得られるものがあります。それが、ゴールキックです。これは、ゴールポストの間のクロスバーより上の空間にボールを蹴り通すことにより認められます。

ところで、皆さんはラグビーの起源をご存知でしょうか？実は、ラグビーは1823年英国のラグビー校のエリス少年が、フットボールの試合中に突然ボールを手でつかみ、そのまま相手ゴールめがけて走りだしたというエピソードです。

当時のラグビー校ルールではボールを手で扱うことは一瞬だけしか認められていませんでした。ボールを手で扱った場合は、後ろに下がるか、すぐにボールを置いて他のプレーヤーに任せるか、パントを蹴る以外は認められていなかったんです。エリス少年はこのルールを無視して、手でボールを前に運んだんですが、やがてそれが公式のラグビー校ルールとして認められるようになります。これが、“ラグビー校式フットボール”の起源といわれています。ちなみに、ラグビー、サッカー、アメリカンフットボールは当時のフットボールが原点となりルールをそれぞれ違う競技として生まれたものです。

次に、得点の種類についてご説明します。ラグビーの得点には大きく分けて「トライ」と「ゴールキック」の2種類があります。

トライは2種類、ゴールキックは3種類あり、それぞれ得られる得点も違います。トライは5点、トライ後のコンバージョンキックは2点。ペナルティーキック、ドロップゴールはそれぞれ3点です。

それでは、次にラグビーが行われるフィールドについてご説明します。ラグビーは縦100m、横70mのフィールド

で2チームがせめぎ合います。

また、よくある質問で、「蹴りだしても出た地点でプレーが再開される場合と蹴った地点まで戻って再開される場合があるがなんで・・・？」これは、ゴールラインから22mにはラインがあり、22mラインとゴールラインの内側から直接ボールを蹴り出した場合、ボールがタッチラインを横切った個所から相手ボールでプレーが始まります（ラインアウト）。しかしながら、22mラインの外側（ハーフラインより）から直接蹴り出した場合は、蹴った地点に戻って、相手ボールでプレーが始まります（ラインアウト）。

ところで、ラグビーのボールは当時、何でできていたかご存知ですか？それは、豚の膀胱を息で膨らませ、そこに牛革を4枚貼り付けたものだったようです。そして、この楕円球は先ほど説明したラグビー校の門前にある靴屋が作ったといわれています。実は、この靴屋は現在国際試合で公式球を提供している、GILBERT社のルーツであり、ギルバート社は現在も、ラグビー校の向いのビルで営業中だそうです。

ここからは、ポジションについてお話しします。ラグビーは1チーム15人で行うスポーツですが、背番号の1番から8番がフォワード（FW）と呼ばれています。9番から15番がバック（BK）となります。

FWは、縁の下の力持ち。強靱な肉体でボールを奪取！と言うように、スクラムを組んだり、ボールがタッチラインをでればラインアウトでボールを奪い合い、BKが捕まれば、すぐに駆けつけボール確保に力を削ぎます。また、ぶつかって、倒されて、また起きて走りだす。時には、踏まれたりしながら走り回るタフな選手で、チームメイトからは尊敬される存在です。

BKは、ゲームを操り、スピーディーに防御を翻弄！！と言うように、FWが確保したボールをどう攻撃に結びつけるか考え、最後には俊足を飛ばしてトライをあげます。攻撃の起点となるのは、9番（スクラムハーフ）と10番（スタンドオフ）です。相手の陣形を見て何処を攻めるのか明晰な頭脳と俊敏性が必要なポジションです。また、トライをあげるフィニッシャーは11番・14番（ウィング）であり陸上の短距離ランナーのようです。

FW・BKともに背番号に応じポジション名があります。まず、FWですが、1番・3番は「プロップ」、2番は「フッカー」、4番・5番は「ロック」、6番・7番は「フランカー」8番は「ナンバーエイト」と呼ばれています。ちなみに、私は2番「フッカー」をやっていました。次に、BKです。9番は「スクラムハーフ」、10番は「スタンドオフ」、11番・14番は「ウィング」、12番・13番は「センター」、15番は「フルバック」と呼ばれています。時の人である、五郎丸選手はこの15番・フルバックですね。昔の選手だと、松尾（明治⇒釜石）、平尾（同志社⇒神戸製鋼）が有名ですが、10番・スタンドオフをやっていましたね。

最後に、ラグビーと言えば「ノーサイドの精神」と良く言われます。「ノーサイド」とは、ラグビーで試合の終了を言います。その精神とは、試合が終わった瞬間に敵味方の区別が無くなり、戦いの後はお互いの健闘をたたえあうことが尊重されます。これが、ラグビーは紳士のスポーツといわれる所以です。

と、言うことで本日の卓話もノーサイドとなります。ご清聴ありがとうございました。